

令和3年度定例会 12月会議開会挨拶（令和3年12月8日）

令和3年度定例会12月会議の開会にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

11月26日開催の第65回町村議会議長全国大会は、昨年につき、新型コロナウイルス感染症対策として、都道府県役員中心の異例の開催となりました。

今年度のスローガンとして、

- ・新型コロナウイルス感染症対策の徹底
- ・地方交付税等の一般財源総額の充実確保
- ・議会の機能強化、多様な人材確保
- ・地方創生の実現による地域活力の再生
- ・地域の実情に沿った分権型社会の確立等を掲げ、

令和4年度予算編成・施策策定にあたって、具体的な28項目の要望を決議。

地方町村の現状は、総じて自主財源が乏しく、過疎高齢化、大規模自然災害、新型コロナウイルス感染症拡大が深刻な影響を及ぼし、増大する役割に迅速・的確に対応しなければならない厳しい状況下で、持続可能な社会を確立する「真の地方創生・地方分権」を確立し、諸問題解決に向け、議会の機能強化、多様な人材の参画を目指す環境整備、脱炭素社会実現に向けた強力な取り組み等が必要であるとし、我々議会人が、一致結束して、果敢に行動していくことを誓うと宣言しております。

「議会の機能強化、多様な人材が参画する環境整備」についても、

- ・地方議会議員の位置付け、権限、職務の明確化
- ・議決事件に係る政令基準の廃止
- ・厚生年金への地方議会議員加入
- ・兼業禁止の緩和
- ・地方議会議員の選挙制度改正
- ・休暇、休業、復職制度の整備等10項目の実現を目指し特別決議をしております。

福島町議会としても、宣言・決議の主旨をしっかり受け止め、厳しい状況を勘案し、より一層研鑽に励み、活発な議会活動を推進しなければなりません。

師走となり、寒さも一段と厳しくなってきました。出席者各位には、お体ご自愛の上、本12月会議もまた、活発な討議が展開されます事を期待し、議事運営に協力をいただきますよう、お願い申し上げ、開会の挨拶といたします。